

図画工作科 実践報告

柏市立手賀東小学校

教科 図工・5年 授業者 今田 佳代子

1 題材名

くるくる回して(開隆堂 図画工作5・6上 心をひらいて)

2 単元の目標

クランクの仕組みを使ったおもちゃ作りを通して、自分の表現したいことについて材料や用具を工夫し、表すことができる。

3 単元計画/評価計画

時配	主な学習内容	評価		
		知・技	思・判・表	態
1 2	クランクを使ったおもちゃの仕組みを学習し、工作用紙とクランクで試作品を作る。	○		
3 4	試作品をもとに、箱部分を「作ってみよう!」で設計する。	○	○	
5 6	動かすものを紙粘土で作る。 ・紙粘土で形を作る。 ・ストローにつける。 ・箱部分を装飾する。		○	
7	仕上げをする。 ・紙粘土に色塗りをする。・クランクにつけ、動きを調整する。	○	○	○

4 アプリケーションの操作手順等(3~4校時)

クランク(針金)を差し込む必要があるため、箱は本体と側面の蓋の2パーツに分けて設計した。

二つのファイルに分けているが、本体の場所を調整し、一つのファイルで作成することは可能である。

一つのファイルに作業する際も、プリントの工程を考慮し、蓋は平置きで設計することが望ましい。

(1) 箱の本体

①直方体A(引かれる側)を作る。

②直方体B(引く側)を作る。

③直方体A—直方体Bで箱を作る。

(側面の片面は抜く)

④底面(実際には上部)に、図形ひき算でストローが

動く大きさの穴をあける。

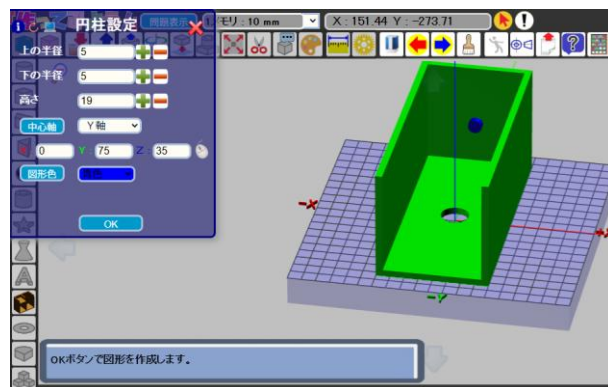
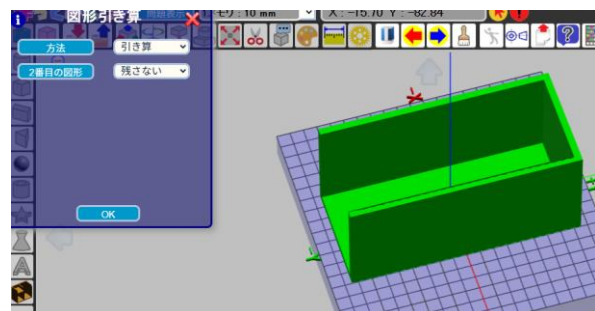
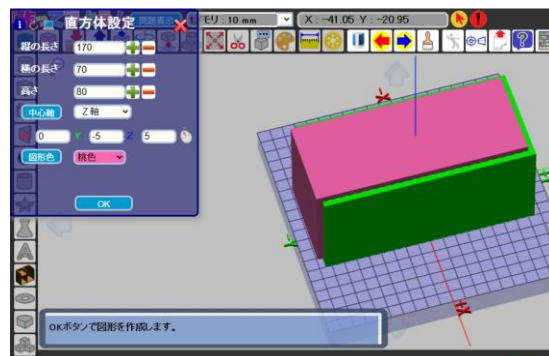
円柱、直方体等、立方体形に制限はないが、穴の

形によって動きが変わるため、試作品と同じような

形、数で穴をあける。

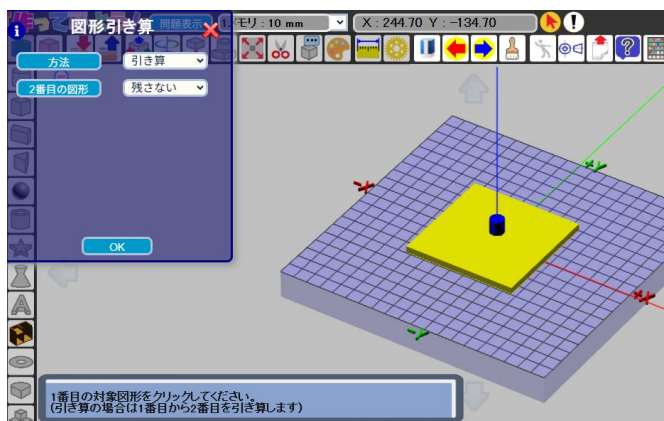
⑤側面の中心にクランク用の穴をあける。

針金を通る穴なので、半径5mm程度

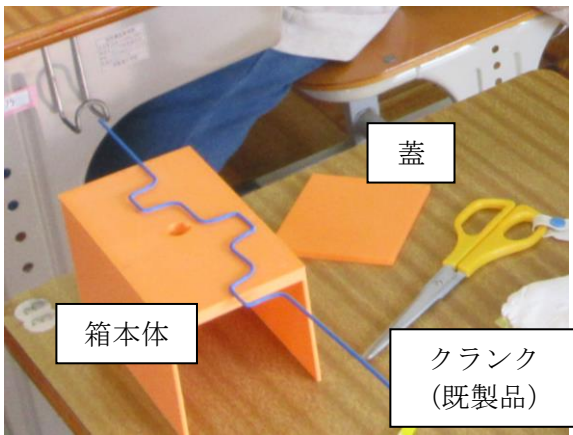


(2) 蓋(側面部)

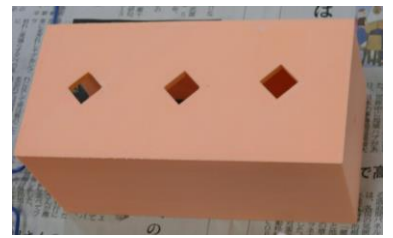
本体のY軸の側面と同じ寸法の直方体(厚さ5mm程度)を作成し、中心に半径5mm程度の穴をあける。



5 児童の作品



穴の開け方



制作の様子



完成作品

